

「学力向上ポートフォリオ(小学校版)」

学力向上目標

- 基礎的・基本的な知識・技能を習得させる。
 - ・さいたま市学習状況調査の「知識・技能」の平均正答率を、令和元年度の値より3pt向上させた値にする。
- 思考力・判断力・表現力を高める。
 - ・さいたま市学習状況調査の「思考力・判断力・表現力」の平均正答率を、令和元年度の値より3pt向上させた値にする。
- 主体的に学習に取り組む態度を涵養する。
 - ・学校評価での「勉強や運動でわからないことやできないところがあっても、あきらめずに取り組んでいますか。」の項目で肯定的な回答の割合を9割にする。
 - ・さいたま市学習状況調査の高学年の項目「家で計画をたてて勉強をしていますか。」で肯定的な回答の割合を8割にする。

具体的な手立て

- ①「和土小算数の授業スタンダード」に継続して取り組む。また算数の学習を複数体制で行う。
- ②朝学習の時間を調整し、算数の学習を行う時間を増やす。
- ③ドリルパーク等を活用し、児童が学習の進め方を自ら調節していくことができるようにする。
- ④児童主体の「さいたま市『アクティブラーニング』型授業」を行う。
- ⑤一人1台端末を活用し、協働的な学びの場を設定する。
- ⑥授業において解決の見通しをもつ場面を設定する。
- ⑦「和土小家庭学習の目標」を配布し、家庭学習の継続と充実を図る。
- ⑧授業の終末に「振り返り」を位置付け、児童が自らの学びを記録するようにする。
- ⑨「生活記録カード」を活用し、生活のリズムを整えるとともに、自主学習の計画を自らたてられるようにする。

結果

今年度の振り返り・次年度に向けて